

16番	新井 亜由美 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>1. 性に関する悩みのある子どもたちが安心して過ごせる学校に</p> <p>【質問趣旨】 心身が大きく成長し発達する小中学校の9年間は、第二次性徴や思春期の時期も含まれ、子どもたちが自らの性に関する違和感や悩みに直面する時期でもある。「自分はおかしいかもしれない」「病気かもしれない」「誰にも言えない」と、親にも先生にも友達にも相談できず、悩み困っている子どもたちの存在は周囲からは見えにくく、必要なサポートが受けられないまま傷つき学校に行けなくなっている可能性がある。</p> <p>「不登校」の子どもが全国で約30万人に増加し、全国平均より高い水位である瀬戸市でも同様に増加を続けているが、</p>	<p>(1)LGBTQ+や性的マイノリティ等の学びについて</p> <p>(2)性に関する悩みをもつ子どもたちの相談について</p>	<p>① LGBTQ+や性的マイノリティなど性の多様性やジェンダー平等は、学校教育において欠かすことのできない重要な観点と考えるが、瀬戸市ではどのように教育に取り入れ実践しているかを、どの学年のどの教科で何時間(コマ数)あるかなどの具体的な現状と課題を伺う。</p> <p>② これまで多くの大人が性の多様性について学ぶ機会がなかったように、教員養成カリキュラムに LGBTQ+や性的マイノリティ等に関する学びが位置付けられていなかった時代に教職員になった方が多くを占めると考える。教職員が正しい知識と認識を持つことが求められるが、その学びの機会を教職員や学校のみ任せるとはならず、パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度を制定した瀬戸市では、教育委員会が主体となって学校や保護者、地域へと研修や継続的な学びの機会を提供していく必要があると考えるが見解を伺う。</p> <p>① 瀬戸市の小中学校で、自らの性的指向や性自認、心と体の性の不一致や違和感など、性に関する悩みの相談支援の状況を伺ったところ「いくつかの学校で相談は受けているが、相談があまり多くない」と聞いている。様々な調査結果からも「左利きやAB型の人と同じくらいの人口」「人口の3～10%程度」存在するとも言われているが、小中学校での相談件数が少ない理由についてどのような認識か伺う。</p> <p>② 性に関する悩みに限らず、悩みや困りごとの相談は、守秘義務が守られ安心できる安全な環境であることが大前提である。しかし、性に関する悩みに関しては「相談するにはカミングアウトしなければならない」という、大きなハードルが横たわっていると考え、どのような認識か伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

16番	新井 亜由美 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>子どもたちが安心して学び過ごせる環境の整備がされてこそ、自己肯定感を高め尊厳を守る教育環境であると考えている。性の多様性やジェンダー平等の観点から教育環境の整備に積極的に取り組むことを求めて質問する。</p> <p>尚、今回の質問は「LGBTQ+」「性的マイノリティ」「性的少数者」など、全体と比較すると少数派と言われる方々のためだけの質問ではない。左利きやAB型と同じくらいの割合で存在するという調査結果があるにも関わらず、「少数派」「特別な存在」と位置付けてしまっている社会全体の問題であり、すべての性に属する私たち全員の問題と考えるものである。</p>	<p>(3)性に関する悩みを解消するための改善について(トイレと更衣室)</p>	<p>③ 性別に関係なく使用できるトイレや更衣室の整備、髪形の自由化、登下校の服装の選択肢を増やすなど、学校のルールの変更や環境整備によって、性に関する悩みをカミングアウトしなくても、悩みや困りごとが解決できる可能性もあると考えるが見解を伺う。</p> <p>① 小中学校で子どもたちが体操服や水着に着替える時の環境について確認したところ、空き教室等の利用で「男子」「女子」別々で着替えているが、個室で着替えられる環境は整っていないと聞いている。しかし、「男子」「女子」で分けられた空間での着替えが困難な子どもたちにとってはとても辛い瞬間と考える。「体育の授業を休む」「体育のある日は学校を休む」という選択をせざるを得ない子どもたちが、おそらく存在する。子どもたちが安心して着替えることができるよう学校でできる工夫や配慮を伺う。</p> <p>② 多目的トイレなど子どもたちが性別に関係なく使用できるトイレは、市内23小中学校の内、掛川小学校と水無瀬中学校以外の21校に設置されており、水無瀬中学校も今年度中に設置が完了する。また21校の内、16校では校舎の各フロアに1か所ずつ多目的トイレが設置されていると聞いている。学校やフロアに多目的トイレのない学校で、性別で分けられたトイレの使用が困難な子どもたちが安心してトイレが使用できる工夫や配慮を伺う。</p> <p>③ 市内すべての小中学校における更衣室の整備が前提ではあるが、にじの丘学園では児童生徒数の増加に合わせて校舎を増築する予定がある。このタイミングで、新旧校舎共に性別に関係なく使用できる更衣室の整備も含めた設計が必要と考えるが方針を伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

16番	新井 亜由美 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	(4)性に関する悩みを解消するための改善について(健康診断と宿泊行事)	<p>① 小中学校の健康診断の現状は、どの学校も「男子」と「女子」で分かれて実施しており、プライバシー保護やLGBT等への配慮を学校ごとに工夫している。また、学校以外での受診の可否については、体調不良で欠席した場合は学校医の病院で受診できることが分かった。しかし、集団での受診ではLGBT等への配慮に限界もあり、性に関する事情で集団ではなく個別の健診を希望する場合もあると考えるが、理由を言わなくても個別健診を受けられるよう検討する必要があると考えるが見解を伺う。</p> <p>② 性に関する悩みを抱えたまま宿泊を伴う行事に参加することは、通常の授業よりもハードルが高くなると考える。LGBTやそうかもしれない子どもや若者が作成した「先生にお願いしたいことリスト」というものがネットや雑誌に公表されており、それには「修学旅行で理由を言わなくても個室入浴を認めてほしい」「修学旅行の時など、配慮&対応できることリストがほしい」というものが含まれている。宿泊を伴う修学旅行等の「配慮&対応できることリスト」の作成で、「カミングアウトしなくても修学旅行に行ける」と判断できれば、欠席しなくてすむ。子どもたちの大切な学びと思い出を保障するために、作成を検討する必要があると考えるが見解を伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

16番	新井 亜由美 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	(5)性に関する悩みを解消するための改善について(制服と校則)	<p>① 中学校の制服と校則について、2021年9月議会で一般質問を行った時と比較すると大きな変化があった。瀬戸市では元々「校則とはしておらず、入学時に配布するしおりの中で学校生活の過ごし方や学習の心構えなど、ガイドラインを伝えている」ということだったが、当時のガイドラインには男女の制服、髪形、下着の色など細かく基準が示されていた。今年度からは制服のブレザー化や頭髪の基準が緩くなったところや削除された学校、また「判断に迷うときは主な決まりの観点に基づいて考えてみよう」など判断を子ども自身に委ねるなど、大きな変化がみられる。学校の示すガイドラインが変更された経緯を伺う。</p> <p>② 中学校では制服のブレザー化により、一部の生徒には性別に関係なく子どもたちのスタイルにも選択肢が広がった。「身だしなみガイドライン」には約束や着こなしなどが記されているが「指定された制服を着用すること」とは記されていない。各学校のガイドラインに則って季節や TPO に合わせた服装であれば、私服で登校しても学校生活に支障がないと考えるが見解を伺う。</p> <p>③ 性に関して現在では少なくとも4つの側面「身体の性」「自認する性」「好きになる性」「表現する性」があると言われており、子どもたちの「自分らしく」「ありのまま」を大切にするには、指定の制服と体操服では限界があると考えます。制服や体操服に加えて私服での登校も選択肢となることで、登校しやすくなる子どももいます。今後は学校と共に、多様な子どもたちにとって自由や選択の幅が広がるよう検討していく必要があると考えるが、見解を伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。